

# 自然公園ワーケーション推進事業業務委託 公募型プロポーザル審査要領

## 1 本書の目的

本書は、自然公園ワーケーション推進事業業務（以下「本業務」という。）の委託に係る公募型プロポーザルにおける業務予定者を選定するための審査基準及びその他必要な事項を定めるものである。

## 2 業務予定者の選定

見積額が委託契約金額の上限の範囲内である提案者のうち、審査得点が最も高い者を業務予定者とする。

## 3 提出書類の確認

- (1) 愛媛県県民環境部環境局自然保護課において、提案者から提出のあった企画提案書に不備等がないか確認を行い、不備等があった場合は補正を求める。
- (2) 補正を求めた企画提案書の提出期限は当初と同じものとし、提出期限までに提出がない場合は辞退したものとみなす。

## 4 審査の実施主体

別途設置する選定委員会が行う。

## 5 審査項目及び点数

総合点数は100点とし、審査項目及び配点は次のとおりとする。

- (1) 業務の計画及び実施方法（80点）
- (2) 業務遂行力（15点）
- (3) 経費見積（5点）

## 6 審査方法

- (1) 選定委員会は、別紙「審査基準」に基づき企画提案書を採点する。
- (2) 選定委員会は、審査順位が第一位の者を業務予定者とする。
- (3) 提案者が1者のみの場合、審査の結果において審査得点が総得点の6割以上である場合に業務予定者として選定する。6割に満たない場合又は提案者がいない場合には、再度公募を実施する。
- (4) 審査の結果、最高点の者が同点で2者以上ある場合は、審査委員会において協議のうえ、候補者及び次点者を決定する。

## 審査基準

審査の項目		審査の視点	配点
1 業務の計画及び実施方法	企画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の主旨を理解し、反映できているか。</li> <li>・ワーケーションを通して、自然公園の魅力を感じることで、交流人口・関係人口の更なる拡大を図ることができる内容となっているか。</li> <li>・県が推進する「エコツーリズム」を盛り込んだ内容となっているか。</li> <li>・参加者の募集方法は適切か。</li> <li>・雨天時等でも事業実施にあたって影響しないよう対策した内容となっているか。</li> <li>・参加者及び関係者にアンケートを実施し、事業の検証ができるものとなっているか。</li> </ul>	55
	管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務担当者が必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。</li> <li>・県や地元関係者と連絡・調整が速やかに行える体制になっているか。</li> <li>・緊急時の連絡体制は明らかになっているか。</li> </ul>	10
	実施方法及び実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施方法は具体的かつ実現可能なものとなっているか。</li> </ul>	15
2 業務遂行力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務行程(スケジュール)について、具体的に記載されており、確実に進行管理できるようになっているか。</li> <li>・上記1について、業務の推進体制及び責任者、その他当該業務に従事する者の役割が明確に示されており、本業務の成果をあげるのに十分な期間従事することとなっているか。</li> <li>・信頼性のある取組体制で、事業遂行能力が十分であると認められるか。</li> </ul>	15
3 経費見積		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画内容と比較して、見積額は適切なものであるか。</li> <li>・所要経費の明細が明らかとなっており、妥当性があるか。</li> <li>・事業費に対して高い効果が期待できるか。</li> </ul>	5